

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS 岩倉校			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 21日		～	2025年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 19日		～	2025年 4月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	- 安心して大人と関わることで、自信をつけることができ、徐々に集団への参加ができるようになる。 - 一人ひとりの利用者様と十分関わることで、「自分を見てくれる」という承認欲求が満たされ安心感を与えられる。 - 一人ひとりの発達段階に合わせた支援が提供できる。	- 事業所側が提示することのみに取り組むのではなく、利用者様の意見や要望を聞き支援内容に取り入れている。 - 毎回担当のスタッフを変え、様々な視点からおこさまを見ることで強みや弱み、変化等に気付いていけるような体制を取っている。	同じトレーニングでも、様々なルールや取り組み方を用意し、利用者様の発達段階に合わせ提供できるようにしている。
2	- 原始反射の統合に繋がるプログラムが確立されている。 - 提供できるトレーニングが多い。 - 運動が苦手なおこさまでも楽しんで身体を動かすことができる。	- 利用者様の動きの中に、プログラムを自然に入れ込んでいけるようタイミングを見逃さないようにしている。 - どのトレーニングにも楽しんで取り組んでいけるよう興味関心が広がっていくような声かけや雰囲気づくりを行っている。	原始反射の統合を促すトレーニングや、目や手、身体の協調性を育むトレーニングをより楽しんで取り組めるよう工夫している。
3	- 体調不良等で、ご利用をキャンセルせざるを得なくなってもご利用可能日数が無駄になりにくい。 - ご家庭のご都合に併せて予定が組みやすい。	月ごとにご利用一覧表を作成し、空き状況を確認できるようにしている。また、空きがでた時は、公式LINEで都度周知している。	より早い段階で利用のご提案ができるよう心がけている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	- 集団生活での利用者様の姿が見えにくい。 - 集団での取り組みが難しい。	個別支援に特化しているため。	保護者様のご要望に沿ったイベント等を検討していく。
2	駐車場が止めにくい。	建物の構造上、致し方ない。	入れ替えの時間なるべく重ならないよう来所時間を調整していく。
3	事業所内研修や全体ミーティングの時間が確保しづらい。	勤務時間の殆どがサービス提供時間のため、当日の打ち合わせ以外の、相談や質問、話し合いの時間を長く確保することが難しいこと。	スタッフ間のコミュニケーションをより密にし、様々な課題を共有したり、意見交換がスムーズにできるよう環境を整えていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 S.I.C.KIDS 岩倉校

公表日 2025年 4月 29日

利用児童数 : 25名

回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1		1		・個々の特性やニーズに合わせ、教具の組み合わせに配慮しスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5				・建物の構造上、バリアフリー化は難しい状況です。安全面に配慮しながら引き続き支援していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				・こだわを受け入れながら対応してくれている。 ・検査したうえで必要とされる運動をして頂いていると思う。	・保護者様のご要望を取り入れつつおこさまの成長、発達に繋げていけるよう支援しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		1	・すべての種類を見てはいないので、親にも何をしているかわかるように見える化してほしい。	・おこさまの集中力が切れてしまう可能性があるため、トレーニング中は親御さん分離をお願いしております。 ・2025年5月より子育てサポートを実施していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	13	6	・機会がなくてもよい。	・保護者様のご要望に応じて検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1		5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24			1	・小さな変化に気付いてくれて、家ではどうですか？と聞いてくれる。	・特に学期の変わり目や運動会等のイレギュラーな日課になる時は、おこさまの様子を注意しながら伺っています。 ・話やすい環境や雰囲気作りも心がけています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				・いつも話を聞いてくださってとても話やすい。	・おこさまに楽しんで通っていただけるよう支援させていただいています。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	6	8	・機会があれば保護者とのコミュニケーションをとれる機会があると嬉しい。	・事業所独自の座談会等をご要望に応じて検討しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			4	・空き状況をLINEでお知らせしてくれてありがたい。	・公式LINE、Instagramで発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	0	6	・多分実施している。	・昨年は1回避難訓練を実施しました。 ・今後は年に2回ほど実施していく予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	0	0	6	・発生していないのでわからない。	・怪我等が発生した際は、保護者様へのご連絡は迅速に行っています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・自分から近づいて、いたずらをする様子を見て、気をゆるしているなど感じる。 ・毎回、楽しかったと言ってくれます！	・安心・安全な居場所と思っていただけているようで、大変嬉しく思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24			1	・毎回楽しみにしていて、行き渋りは今のところ1度もない。 ・絶対やめたくないとってます！	・おこさまの笑顔にスタッフも元気をいただいております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・できることが増え満足しています。引き続きお願いします。 ・丁寧にサポートして頂いています。	・大変ありがたい言葉をいただけることに感謝いたします。今後も楽しんで通所していただけるよう支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
S.I.C.KIDS 岩倉校		2025年 4月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・教具を都度整理、配置換えを行いスペースを確保している。	・より高い天井、広いスペースで合った方が望ましい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		・配置人数は基準を満たすようにシフトを組んでいる。マンツーマンの療育だが、必要に応じて人数を増員し対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	・階段部分にはゲートを付けている。また、おこさまが階段前を通る際はスタッフが前に立ち安全確保を行っている。	・建物の構想上改善は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日、清掃、消毒を行っている。 特にトイレは使用毎に確認し清潔が保たれるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		・ひとりになれるスペースやクールダウンできる場所を確保していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・気づいたことは都度話し合うようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	—	—		・今回が初めての自己評価です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的に個別面談の機会を設けている。 ・本部に『ここからからの相談』窓口が設けてある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・S.I.C.KIDSの全体研修に参加している。 ・県や自治体等の外部研修にも参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムの公表をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・保護者様から伺ったことを共有し、おこさまのお困りごとを分析し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援ミーティングを行い保護者様のニーズやおこさまの課題や今後の成長について検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・都度情報共有を行い、上手く取り組みなかった内容は調整を図りながら支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・標準化されたアセスメントツールは使っていない。事業所独自のアセスメントを使用している。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・担当スタッフが立案し、打ち合わせ時に全体共有、調整を行っている。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・興味や関心の範囲が広がるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		5		・個別療育のため集団活動はない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・朝礼時に支援内容確認やスケジュールの確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・気づきや問題があった場合は都度共有し意見を出し合い、改善を行うようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・スタッフが決めたプログラムを一面的に行うだけでなく、選択し決めていける環境を設定している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・市内の保育園とは5月より連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	—	—		・該当なし
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	・保護者様を介しての情報共有は行っている。	・必要に応じて情報共有の場を設けていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	・学校を卒業されたご利用者様はまだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・児童発達支援センター主催の研修に必要な応じて参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・保護者様の要望に沿って検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・支援終了時に保護者様に報告の機会を設けている。 ・年度の切り替え時期や運動会等のイレギュラー日課となる時期は、こまめにお話を伺うようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・本部主催の講演会の案内をおこなった。	・事業所独自の座談会等を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・体験時やご契約時にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・モニタリングの機会を設けている。 ・支援中の何気ない会話から、おこさまの思いを引き出すようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・書面での確認と、読み上げ、分かりやすい言葉での説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・お声掛けいただいた際は迅速に対応している。その場で回答できないことは、本部に相談し助言をするようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		・保護者様の要望に沿って検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・迅速に対応している。 ・苦情・要望の窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			・公式LINEやInstagramで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			・ご契約時に同意書をいただいている。 ・Instagram投稿の際は保護者様に確認を取ってから投稿している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			・指文字や手話、絵カード、見通しカードを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・地域の方も参加できるイベント等を計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・ご利用者様、スタッフで行う訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・ご利用者様、スタッフで行う訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・アセスメントシートにご記入いただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—		・食の提供は行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・毎週教員点検を行っている。 ・入口はカメラ付きドアホンを取り付けられている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・訓練行う際は保護者様に事前に周知している。 ・待合室にもイラスト等で掲示し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・都度共有して検討の場を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・自治体の研修や本部研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・ご契約時に説明をしている。	